

VQS コラボクライントバージョンアップ(2.0.3.8)内容のお知らせ

2011/07/22

株式会社オサムインビジョンテクノロジー

- WindowsXP で、マイクデバイスの StereoMixer を自動で Mute するようになりました。

これにより一部の機種で起こりうる、サウンドデバイスの内部で相手の発言内容がマイク音声として回り込む症状を解消しました。

- フルスクリーンの機能修正

議長により参加者の画面をフルスクリーンにする際、従来はモニタの解像度を変更する事で実現していましたが、今回解像度変更する事なくフルスクリーン化しました。

これにより、一部のモニタで起きていたフルスクリーン時の額縁表示を解消しました。

- ホワイトボードの消しゴムはこれまで範囲指定のみでしたが、ゴシゴシ消せる消しゴム（フリーハンド型の消しゴム）を追加しました。

- ホワイトボードで資料画像を読み込む際、大きい画像の場合、自動でリサイズをするようにしました。

- 使用できるデジタルペンとして「MVPen」はこれまで対応しておりましたが、今回新たに MVPen EN301i にも対応しました。

- Windows Vista / Windows 7 で「音響エコーキャンセル機能」を追加しました。

従来はハードウェア（エコーキャンセラー付スピーカフォン）を使用することで実現していたエコーキャンセルの機能をソフトウェアで実現しました。

この機能は、Windows に搭載された[AEC]を使用して音響エコーキャンセルを行うものです。

通常のマイクとスピーカーを使用しても、音の戻りがありません。

環境によっては音響エコーキャンセルのパフォーマンスが発揮できない事があります。

本機能により、入室中のマイク音量は自動で調整されます。

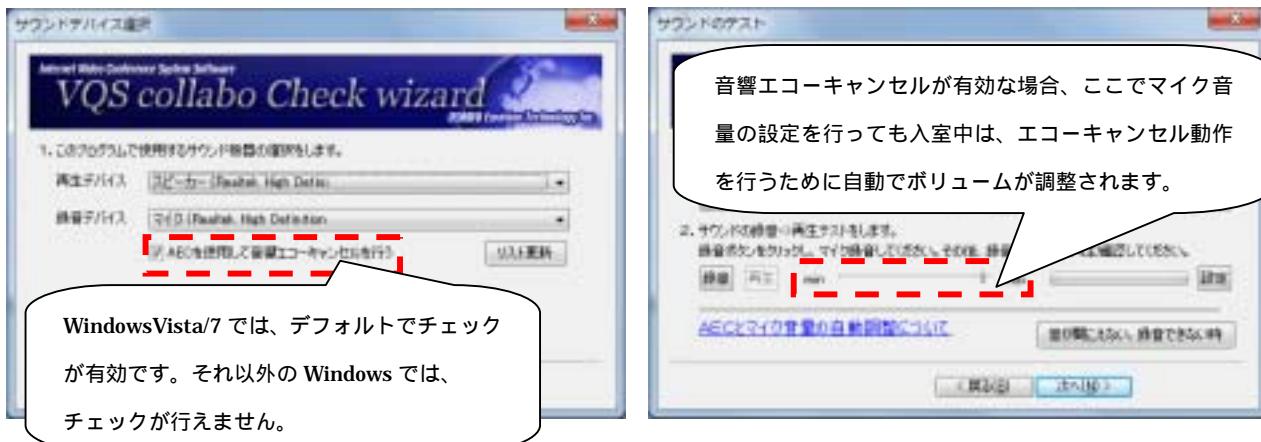
オートゲインコントローラと併用する事で音声が安定しない場合があります。

このようなときは本機能をオフにしてお試しください。

ステレオ音質をご利用の際はこの機能がオンであっても使用されません。

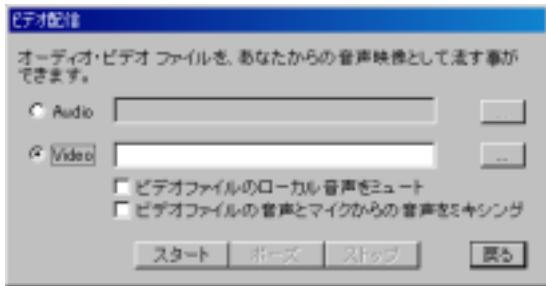
CD 音質をご利用の際はこの機能がオンであっても使用されません。

AEC・・・Acoustic Echo Canceller (アコースティック エコー キャンセラー) の略称です。



・音声ファイル配信機能を追加しました。

従来より AVI・WMVなどのビデオファイル映像を配信する機能を実装していましたが、今回これに加えて音声ファイル(対応形式: wav,mp3,wma)も扱える様にしました。再生中にポーズが行えるようになりました。



・資料アップロードツールに機能追加を行いました。

1) Office ドキュメント (Word,Excel,PPT) を資料アップロードツールでダイレクトに変換し、アップロードできるようになりました。

必要環境 : Microsoft 社製 Office がインストールされている事

(印刷対象のファイルが編集できるアプリケーションがインストールされている事)

JPG、BMP ファイルが書き出せる仮想プリンタがインストールされている事

Microsoft 社の Office 製品がインストールされている PC で、仮想プリンタとの組み合わせにより、Word,Excel,PPT の資料をホワイトボードで扱えるフォーマットへダイレクトに変換できるようになりました。従来は仮想プリンタ・資料変換ツール・資料アップロードツールをそれぞれに使用していましたが、今回の機能によりその操作が大幅に改善されます。

本機能を使用するための注意事項は、以下の通りです。

【仮想プリンタ】

変換をするには「仮想プリンタ (1)」が必要です。別途インストールを行ってください。

【作業フォルダ】

仮想プリンタの設定で、画像を生成するフォルダの指定があります (2)

そこへ、本プログラムの「 2 . 作業フォルダ」に表示されているフォルダ情報を入力してください。

仮想プリンタが生成する画像ファイルのフォーマットは「 BMP 」または「 Jpeg 」としてください。

1 … 「仮想プリンタ」についてはホームページにてご紹介をしています。

<http://www.vqs-m.co.jp/vqscollabo/link.shtml> の仮想プリンタドライバよりご確認ください。

2 … ご利用の仮想プリンタのマニュアルをご覧ください。

2) 資料の自動リサイズ機能を追加しました。

従来はホワイトボードで扱えるようにあらかじめ資料変換ツールでサイズ調整の必要がありましたが、資料アップロード時にリサイズ機能を取り込む事で操作が簡単になりました。

オフィスドキュメントを使用した資料登録の流れは、以下の通りです。

